

自然外傷との鑑別を詳述

児童虐待予防で研究会開催

関係機関との連携強化は不可欠

地域医療対策部は10月6日、第10回児童虐待予防対策研究会を開催。44名が参加した。北九州市立八幡病院院長の市川光太郎氏が講師を務め、さらに横浜市中央児童相談所の白木富幸氏が話題提供を行った。

組織的対応が可能

虐待防止NW

市川氏は冒頭、児童虐待が増える原因として、若い親の「我が子よも自分が大切」という気持ちや、家庭機能の脆弱化・崩壊をあげ、虐待の通報件数も1990年に比べて60倍ほど増えているとの実態を紹介。



北九州市立八幡病院・市川氏



横浜市中央児童相談所・白木氏

説いた。

「毎日児童と接する別診断の重要性を説いた。市川氏は、北九州の医療機関に対して行った虐待の鑑別診断の調査において、7割以上の医療機関で情報交換や症例検討、また基幹病院からの児童相談所等への通告も行われている」と、ネットワークの果たす役割が児童虐待防止には欠かせないことを強調した。

児童虐待に対する組織的対応が必要とした。市川氏は実際に虐待を受けた児童の外観写真やレントゲン写真を数多く紹介し、虐待による傷の特徴について詳しく解説。参加者は「二重条痕等、日常診療

虐待発見時対応の実情

最後に市川氏は、地域全体で、虐待の原因となる家庭力・家族力の低下し、虐待をいかに見出し、支援していくかが重要と説いた。



子どもと家庭・支援対策小委員会委員長の三宅委員(左)と岩崎委員

所へ望むこととして、回答者の8割以上が「迅速な対応」をあげており、8割弱が「対応後の経過を情報提供して欲しい」と考えていることが明らかとなった。とり組み強化を図っていきたく述べた。

高齢者2割で財政審が一致

陣容増強 社保審との合同も視野

財務省は10月15日、財政制度等審議会の財政制度分科会を開き、70歳〜74歳の

医療費の窓口負担を2割にするなどで各委員の一致をみた。これは2013年度予算編成における社会保障制度分野の議論でのこと。

政権交代後、財政審の「建議」は見送られている。この陣容増強、報告書作成、合同協議提案の一連の変化

主張 医療福祉切り捨てるの 神奈川臨調を許すな

県は、本年3月に神奈川県緊急財政対策本部を立ち上げ、その下に外部有識者会議を設置した。この役割が「臨調」を彷彿させるため、この会議は「神奈川臨調」と呼ばれている。知事は「われわれは沈みかけているボートに乗り合わせ

「医療のグランドデザイン」として「神奈川臨調」を「神奈川構想」に置き換える。これは「医療の多くを、県債(県の借金)で肩代わりしなければならぬ状況であるため、県の繁栄・発展に繋がることは大いに賛成

介護 地域医療対策部だより

介護報酬Q&A

この間特に、協会へのお問合せが多い「居宅療養管理指導費」の「同一建物」の考え方についてご紹介します。

Q1 どのような時に同一建物として扱うのか?

A1 「同じ屋根の下」は同一建物とお考えください。たとえば、マンションの同じ棟に住むAさんとBさんに対し居宅療養管理指導費を算定するときは「同一建物」。また、一戸建てのC家に住むご主人Cさんと奥様Cさんの二人に対して居宅療養管理指導費を算定する場合も「同一建物」。医科の訪問診療では「同一患者」として扱いますが、介護保険には同一患者の考え方ありませんので、「同一建物」として扱います。

Q2 グループホームなどの施設に入居している方に対して居宅療養管理指導費を算定する場合は?

A2 複数の入居者に対して算定するときは「同一建物」、一人の入居者に対して算定する場合は「同一建物以外」の扱いです。

◆お問合せは、地域医療対策部まで (☎045-313-2111)

臨床家のためのイロハ塾

統計学セミナーを開催

50名が参加

学術部は9月19日、開業医の臨床研究への興味を促進するため、「臨床家のための統計学入門」をテーマとした臨床医学統計セミナーを開催。東京大学大学院医学系研究科疫学・予防保健学教授の大橋靖雄氏が講演し、医科歯科の統計に興味を持つ会員50名が参加した。

講演では、臨床の現場に統計学が導入されてきた経緯や、臨床研究で行うランダム化などの手続きが導入された背景について解説。臨床家として統計学を学ぶ上でベースとなる知識が披露された。また、統計学を学ぶための定評のある教科書なども紹介された。

講師の大橋靖雄教授

活動報告 quick reports